



## 最近の中国事情と日中関係

環日本海経済交流センター長 藤野 文悟

### 東北開発ハルビン会議

先頃2007年日中経済協力会議－於ハルビンに参加の為黒龍江省ハルビン市を訪れた。日中東北開発協会派遣の代表団の副団長、富山県の代表としてである。5月31日、6月1日の2日間の会議で、環日本海に於ける北陸富山の重要性を強調して来た。特にNEARの定期的開催は、北陸の地方都市としては画期的なイベントであり、中国側の積極的参加を要請した。最近の中国経済の躍進の中で外貨準備高の増大は顕著であり（1兆3千億ドルを超え世界一）今後中国は積極的に海外への投資に打って出ると思われるなかで、富山への関心を高めるよう強く要請した。東アジアが共同体を作る動きが本格化しつつあるなかで、北東アジアの提携は極めて重要であり、今後環日本海地域に於ける物流の拡大が見込まれる。太平洋に劣らず日本海をもっと活性化しなければならないと強調した。4年前に同じ会議でハルビンを訪れたが、都市建設は確実に進んで居り、中国北辺にも改革の波が打寄せているという印象であった。ただ都市建設などのハードは整備されて来ているが、ソフト面の改革は未だしの感が深かった。特に企業の民営化が全般的に進んでいない。黒龍江省の経済の核が大慶油田に大きく依存していることがそうさせるのかもしれないが、又、日本海への出口がないことも重要な理由であろう。東北三省はその地勢学的立場から遼寧省が圧倒的に優位に立っているが、今後三省がそれぞれの特色を棲み分けして一体となって発展することを模索しなければならないだろう。

### 北京にて

ハルビン会議の後、私的な要件で北京に立寄った。来年のオリンピックを控え北京の街づくりは急速に進んでいる。副都心の様な街が多く出現し活気に溢れている。北京－天津で開通した高速鉄道に乗った。日本の新幹線も一部協力しているが、時速200キロの最高速度で北京－天津を1時間で結ぶ。それぞれの車両にエンジンがついていて安定した走行で快適だった。料金はグリーン車51元、普通車は42元。満席で切符を入手するのが大変だという。今後この様な高速鉄道網が中国各地に張り巡らされれば中国の発展は更に確実なものとなるだろう。

### 第17回党大会に向けて

今年は秋に5年に1回の中国共産党大会が開かれる。社会主義市場経済の推進、和諧社会の建設に向けて中国は正念場を迎えている様だ。問題は貧富の格差の縮小と農村の振興である。あわせて不正、腐敗を排除する為の法制度の確立と政治体制改革がいよいよ現実的な課題となってきた。今年も上半期の経済成長は前年同期比11.9%増と引続き高水準であり、外資の流入、人民元の過剰流動性と経済の過熱、インフレ懸念と出て来た。市場経済の行き過ぎによる利益第一主義、拝金主義の横行にどう歯止めをかけるか、又、長年棚上げにして来た政治体制改革にどう着手するか、胡／温政権はいよいよ正念場を迎えると言えよう。党大会の結果に注目したい。

### 日中関係

日中の政治関係は5年に渉る長い低迷を脱した。今後はやっと合意に達した戦略的互惠関係の構築に向けていよいよ具体的な手を打たねばならない局面となった。政治的なスローガンをお互いに確認し、双方の首相が相互訪問したことは間違いなく大きな前進だが、今後の課題はお互いに腹を割って話し合える信頼関係をどう作り上げるかである。一つは各方面の努力を積重ねて歴史認識というトラウマを一月も早く乗り越えることである。アジアでは日中両国は間違いなく中核となる大国だ。この二大国がお互いに主導権を争うことなく協調し合う関係を作ることが、アジア全体、しいては世界に大きな影響を及ぼす。東アジアの共同体は二国のパートナーシップがなければ成立し得ないという認識を共有したい。環日本海を中心とする北東アジアはその推進力となってもよいのではないか。

当面克服すべき政治的課題は、東シナ海。ガス田の共同開発問題だろう。領土問題と現実的な互譲の精神をどう発揮し調整するかが問われる大きな試金石だ。経済的にはエネルギー、環境問題にどう協力するかを具体的につめて行かねばならない。そして年内に安部首相の再訪中を実現し、来年早期に胡錦涛国家主席の来日を実現する。それが日中新時代の新しいスタートとなるという認識を日中双方で共有したい。

(以上)